

第3号議案

平成30年度事業計画及び予算

1. 平成30年度事業計画
2. 平成30年度予算

1. 平成30年度事業計画

平成 30 年度事業ならびに活動計画

特定非営利活動法人 安全工学会

1. 事業活動方針

産業に係わる安全の諸問題を広く工学的に調査・研究し、各種災害の防止のための知識・技術の向上及び普及を図るため、特に、安全及び安全教育にかかわる議論を活発に行い、安全工学の普及活動に注力する。

昨年度は、学会創立 60 周年にあたり、これまでの 60 年の歴史を振り返り、これから 10 年先を見据えてビジョンを描く作業を改めて開始した年だったが、今年はこれを発展させ深耕し、実際に行動する年とする。

また昨年度は、CCPS、APSS の二つの国際学会を主催し、安全工学シンポジウムの幹事学会を務め、安全工学研究発表会を合わせ、産・学・官を包括した安全工学の普及、啓蒙活動に尽力した。これらを安全工学会 10 年のビジョンの糧とし活かして行く。

広く安全工学会の 10 年のビジョンの姿を求め、アドバイザリーボードの開催を継続し、これらを精査し錬磨し、ビジョンの具現化への戦略を創り上げる。また研究会活動の再構築を推進し、ビジョンの具現化の一つの選択肢とすることを模索する。

安全工学会の発刊書籍の要である「新安全工学便覧」を改訂して再編集し、経営者、研究者、技術者、現場の管理者など、安全にかかわるすべての方々を対象に、安全工学の知識の向上、安全工学研究や企業での安全活動に役立つ便覧を目指す(継続)。

「保安力向上センター」は活動の迅速性を高め更なる発展を図るため、安全工学会とは独立した新たな特定非営利活動法人として発足した(平成 30 年 4 月 2 日(月)付)。今後、事業承継契約を締結し、名実ともに安全工学会から独立した組織としての活動を開始する(平成 30 年 6 月より予定)。なお今後も相互の理事の就任、定期的な打合せ会議の開催などを行い、相互の協力、協同に務めて行く。

2. 事業内容 特定非営利活動に係る事業

2.1 安全工学に関する研究・教育事業

① 安全工学に関する研究

学術委員会を中心に安全及び安全教育に関し検討を進め、普及、啓発活動に注力する。研究会活動の活性化、再構築に努力する。

② 安全工学シンポジウム 2018

安全工学を軸とした、横断的な研究発表会への参加(OS:「組織と個人のリスクへのセンス向上手法」、PD:「安全教育と人材育成について」、他)。

開催月日:平成30年7月4日(水)～6日(金)

開催場所:日本学術会議

参加予定者:550名

主催:日本学術会議

幹事学会:日本機械学会

共催:安全工学会ほか31学協会(予定)

③ 安全工学研究発表会(第51回)

安全工学会を軸とした、安全工学研究成果の発表会を主催する。

開催月日:平成30年11月29日(木)～30日(金)

開催場所:石川地場産業振興センター(石川県金沢市)

参加予定者:200名

④ 研究・教育事業管理

対象委員会・研究会

学術委員会

3-4回

安全工学研究発表実行委員会

1-2回

医療安全研究会

6回

新規研究会の立ち上げ

2.2 安全工学に関する普及啓発事業

2.2.1 一般普及事業

(1) 会誌“安全工学”

①発行 印刷物の発行 年6回

②電子化推進

J-stageの公開 2016年6月発行分～実施済み

既発行分のJ-stage公開の推進(継続)

(2) 講習会・セミナー

①第40回安全工学セミナー

物質危険性講座 平成30年9月

危険現象講座 平成30年10月

プラント安全講座 平成30年11月

安全マネジメント講座 平成31年1月

実施予定場所 化学会館会議室又は機械振興会館会議室

参加募集人員 各回30人

②安全工学地域セミナー

開催月日 (詳細未定)

実施予定場所 (詳細未定)

参加募集人員 30人

③第32回安全管理の最新動向講習会

開催月日 平成30年6月11日(月)～12日(火)

実施予定場所 化学会館

参加募集人員 30人

④第17回安全工学実験講座

開催月日 1回 平成30年6月7日(木)～8日(金)

実施予定場所 日本カーリット(株)

参加募集人員 20人

⑤災害事例研究会

開催月日 2回 平成30年6月6日(水)

半日/回、(三菱マテリアル四日市事故事例)、
他については未定

実施予定場所 化学会館

参加予定人員 各回60人

⑥地域・企業支援セミナー

日本全国の地域・企業への講師の派遣 4件程度

⑦安全教育セミナー

安全教育担当向けセミナーの継続開催の推進

開催月日:平成31年2月13日(水)～14日(木)

開催場所:三井化学株式会社 茂原分工場

参加予定者:20人

⑧工場長懇談会の定期的開催

石化協と共催による地域毎の工場長・環境安全部長との懇談会推進

⑨普及啓発事業管理

・対象委員会・研究会等

編集委員会 12回

普及委員会 4回

・会誌への広告募集管理

(3) 図書販売・会誌の年間購読販売

法人事務所にて図書販売等を実施する。

2.2.2 普及啓発事業:受託事業

経済産業省の新規事業に注目し、受託事業管理委員会管理下、対応可否を吟味する。

2.3 安全工学に関する調査及び情報収集提供事業

ホームページを充実させ、会員への情報提供を推進する他、意見交換システムの検討を行う。又、非会員へのPRを推進する。

2.4 安全工学研究の奨励及び研究活動等の表彰

学会賞授与 安全工学に貢献した優秀論文、功労者を表彰する。以下の賞を含め、賞の内容、審査決定時期について見直しを行う。

対象:安全工学論文賞(2件以内)、玉置功労賞(2名以内)、北川学術賞(2名以内)、奨励賞(2名以内/研究発表会での決定・表彰について検討する)

2.5 安全工学に関連する国内外の団体との連携及び協力

安全工学に関連する学協会に加入し、情報を得ると共に安全工学の発展の

ために協業を模索する。国際的には、APASES (Asia Pacific Association of Safety Engineering Societies, アジア太平洋安全工学学協会連合) に参加(継続)、APSS、CCPS との情報交換を継続、発展させる。

①諸会費

(社)日本工学会、高圧ガス保安協会、防災学術連携体などに会員として加入(継続)

②安全工学シンポジウム 2018 他

③防災学術連携体への参加を継続し、接点を模索する。

2.6 管理業務

①総会 1回開催

開催月日:平成30年5月15日(火)

開催場所:化学会館

②理事会 4回開催

開催月日:平成30年5月15日(火)

平成30年7月

平成30年11月

平成31年3月

③評議員会 1回開催

開催月日:平成30年5月15日(火)

④監事会 1回開催

開催月日:平成30年4月27日(金)

⑤委員会

総務委員会 必要に応じて開催

企画委員会 4回開催

アドバイザリーボード 1回開催

⑥現場研修会 2回開催

開催日:平成30年10月予定、平成31年3月予定

見学先:能美防災株式会社(妻沼) 調整中

参加予定人員:安全工学会の会員 各回20~30名

その他未定

以上